

日本赤十字広島看護大学大学院看護学研究科共同看護学専攻博士課程に在籍しております篠原謙太と申します。今回、私は、「シャント狭窄を早期発見するための多職種によるシャント観察・アセスメントの実態」というテーマで研究に取り組んでおります。本研究では、シャント狭窄を早期発見するために、透析治療に関わる医師、看護師、臨床工学技士が透析開始時のシャント穿刺前に行っているシャント狭窄を早期発見するための観察およびアセスメントの実態を明らかにすることを目的としております。

つきましては、以下の方を研究参加者として9～15名（各職種3名以上）募集しております。研究の方法はインタビューを行います。所要時間は30分～1時間程度を予定しています。インタビューは研究者が研究に参加いただける方の所属施設へ伺います。

《募集している方の要件》

- (1) 維持透析患者に対する血液透析を施行する部署で勤務し、シャント観察、アセスメントを行っている者で、かつ以下の(2)～(4)のいずれかの基準を満たした者。
- (2) 医師：腎臓専門医、透析専門医、VA血管内治療認定医のいずれかの資格を取得しており、慢性維持血液透析患者の治療経験が5年以上を有する者。
- (3) 看護師：慢性疾患看護専門看護師（サブスペシャリティ；腎臓病または、透析）、腎不全看護認定看護師、透析看護認定看護師、慢性腎臓病療養指導看護師のいずれかの資格を取得しており、慢性維持血液透析患者への看護経験が5年以上を有する者。
- (4) 臨床工学技士：透析技術認定士、認定血液浄化関連臨床工学技士、血液浄化関連専門臨床工学技士のいずれかの資格を取得しており、慢性維持血液透析患者に対する穿刺や人工透析装置の操作経験が5年以上を有する者。

本研究は医師、看護師、臨床工学技士の3職種を対象としています。皆様のご施設に勤務されている医師、臨床工学技士の方に上記の要件に該当され、研究に参加いただける方、もしくは、興味があり詳細を知りたい方は、研究者の下記メールアドレスまでご連絡いただきますようお願いいたします。

また、看護師の方には上記の要件に該当する医師と臨床工学技士の方のインタビューの日程調整と場所の確保についてもご協力をいただきたく存じます。

なお、今後本研究のインタビューデータをもとにシャントの観察・アセスメントツール開発に関わる研究を計画しております。その際は、研究結果の信頼性の確保のため本研究にご協力いただいた方は研究協力者の対象とならないことをご承知おきください。

本研究は日本臨床腎臓病看護研究会の運営とは関係ありません。研究への協力は自由意志に基づいて申し出ていただければ幸いです。

研究者

日本赤十字広島看護大学大学院看護学研究科共同看護学専攻博士課程
篠原謙太

Email: ks11194@jrchcn.ac.jp